

令和 7 年度心のバリアフリー教室について

1. 令和7年度の取組方針

- ・「心のバリアフリー」に関する正しい理解を効果的に伝える
- ・実施校の拡大

2. 実施概要

募集校数	9校(将来的には実施主体を学校に移行し、市内全19校実施を目指す。)
日 数	1校あたり1日～
時 間	45分×3コマ(3コマ終了後に宿題あり)
実施単位	1コマ目:学級、2,3コマ目:学年(全学級同時)
実施場所	1コマ目:教室、2,3コマ目:体育館
対象学年	原則小学5年生

3. プログラム概要

(1) 学びの目的と狙い

- 目 的 様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことでなくせるバリアがあることを理解し、実践する気持ちを育む。
- 狙 い 「障がい疑似体験」や「障がい者との交流体験」を通じた障がい理解・他者理解に留まらず、コミュニケーションを取って支え合うことの大切さや障害の社会モデルという「自身に何ができるか」について考えることを狙いとする。

「障がいのある人は思っていたより大変なことが分かりました。」

「障がいのある人と一緒に楽しく遊べて良かったです。」



「障がいの有無に関わらず、困っていそうな人がいたらコミュニケーションを取って、自分のできることで支えたいと思います。もし自分が困っていたら、人に相談したいと思います。」

「困りごとは社会の仕組みを変えることで解決できて、私にもできることがあると知りました。」

(2) 内容(案)

資料2、資料3 を参照

4. スケジュール

8 月上旬	実施校募集
9 月中旬	実施校決定
10 月上旬	実施校教員へ事前レクチャー
10 月下旬～令和 8 年 3 月末	教室実施